

◎ 死別の分かちあいの集い(予約・参加費不要) : 14時～16時

・伴侶 : 毎月第一土曜日 (9/6、10/4、11/1、12/6)

・自死 : 毎月最終土曜日 (9/27、10/25、11/29、12/27)

遅刻も早退も構いません。辛い寂しいお気持ちを吐露してください。

超覚寺門徒でなくても参加できます。お知り合いにも是非ご案内ください。

◎ 浄土真宗基礎講座(兼 超覚寺女子会定例会) : 14時～15時

毎月28日 (御開山 親鸞聖人の御命日) に開催しています。

10/28(火)、12/28(日) [9/28(日)・11/28(金)はお休みします]

この2回は、11月の報恩講・年明け1月の修正会に向けて、仏具のお磨きをします。予約も参加費も不要ですので、奮ってご参加ください。

◇ 報告・連絡・“僧”談

この度の土砂災害により、亡くなられた超覚寺の御門徒はいらっしゃいませんでしたが、被害を受けられました皆さまに対し、心からお見舞いを申し上げます。くれぐれもご健康に留意され、一日も早く復旧されますよう、心から念じております。

この盂蘭盆会で御供えいただきました御布施を、広島土砂災害義援金として中国新聞社会事業団に託しました。

超覚寺住職 和田隆恩

(*--*)人 i ~ 合掌

No. 平成26年 8 月 26 日

広島市中区八丁堀5-2
超覚寺門徒会 様

社会福祉法人
中国新聞社会事業団
広島市中区土師町7番1号(中国新聞社内)
TEL (082) 236-2424 番
FAX (082) 293-7855 番

寄付金領収書

4300000

目的
() 社会福祉事業資金として
() 交通通児救済資金として
() 歳末助け合い募捐金として
() 中国芸術学園の療育助成として
() 原簿ホーム運営資金として
(v) 広島土砂災害義援金

上記の金額を領収いたしました。
お寄せいただきましたご厚意は目的に合わせて活用させていただきます。心よりお礼申し上げます。2014/08/26

本法人は社会福祉法人であり、当事業団への寄附金は所得税法第7条および法人税法第37条の寄付金控除の対象となり、当該領収書はその証拠となります。

【八丁堀だより】



真宗大谷派(東本願寺)



林鷲山 超覚寺
憶西院

RIN-OKU-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI
(since 仏暦2002, 西暦1619, 元和5)

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : http://www.namuamidabutsu.com

超覚寺 秋の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがとうございます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(_ _)>

◎ 2014年 秋季彼岸会(永代経)法要 + 八丁堀寄席

9月23日(火・祝) 13時～ 勤行・法話 (住職)

14時～ 休憩・喫茶タイム

14時半～ 落語 (桂文鹿師)

桂文鹿(かつらぶるろく) 師

○ 1969(昭和44)年 奈良市生まれ

○ 真宗大谷派系列の大谷大学文学部卒

○ 1994(平成6)年・桂文福師に入門。3年間の修行期間を終え、

1999年からプロボクシング選手との二足のわらじ状態の活動。

31歳でボクシングを引退、落語に専念。

今回は、**広島土砂災害復旧支援チャリティー寄席**として開催いたします。

御布施・御供は全て義援金として募金いたします。

◎ 2014年 報恩講法要

11月15日(土) 10時～ 勤行・法話 (住職)

12時～ 御斎(おとき)

13時～ 市内住職出仕勤行

14時～ 法話 (徳栄寺住職 灘尾寛 師)

◇ 第2回 節談説教布大会in広島

第1回目の節談説教布大会in広島は、昨年、広島市中区寺町の本願寺
広島別院で開催され、約400名もの御門徒が拝聴されました。あふれんばかり
の聴衆方の受け念仏と、それに本堂全体が包まれる様は有難いものでした。

今年は**10月17日(金)13時～16時**の予定で広島市東区民文化センター
で開催されます。入場は無料ですが、御懇志は受付にて拝受いたします。

私は裏方のスタッフで参加予定ですが、登壇される御講師の都合によっては、
ピンチヒッターで登場するかも知れません。乞うご期待！

◎ 超覚寺帰敬式

帰敬式(ききょうしき)とは、仏さまの教えを大切に生きていくことを誓い、正式な
法名をいただく「お髪剃り」の儀式です。ここ数年、東本願寺や広島東別院で受
けられる方がいらしますが、超覚寺でも受式することができます。

この度、家族が先に受式された方や合同墓への生前予約された方など、自分
も受式したいという方のために帰敬式を執り行うことにしました。お釈迦様が悟りを
開いた日と同じ**12月8日(月)の13時**から執行します。受式を希望される方は、
是非お早めにご連絡ください。自分で考えた法名で仏弟子になりましょう。

◎ 東本願寺お煤払い奉仕団

今年は**12/18～20(木金土)**に東本願寺境内の同朋会館で二泊し、講義・
座談・諸殿拝観・東本願寺本堂の清掃奉仕等で過ごします。全国各地の真宗
門徒の方々と語り合いも楽しいものです。寒い時期ではありますが、年に一回しか
ない機会。総費用は御布施・食事・運賃込みで**4万円**です。参加者募集中で
すので関心のある方は、是非お早めにご連絡ください。

◇ 超覚寺合同墓について

合同墓は今の時代に適うお墓の形態です。超覚寺が責任を持って永代に渡ってお守りする、誰もが入れられるお墓です。お墓の懸念を解決することで、より充実して過ごしていただきたいとの願いから建立した、今を安心して生きていくためのお墓です。超覚寺の境内墓地の一番奥に建立され、8/6に落慶法要が勤まりました。

お墓の継承者やお参りをしてくれる身寄りがいない方、墓地が遠くてお参りできないから近くに移転したい方、お墓にお金をかけられない方、生前にお墓を決めておきたい方等、どなたでもご使用いただけます。合同墓の使用者は、申し込み時に下記の永代懇志（墓誌刻名費を含む）を納入いただきます。

- ・生前予約をされる場合（法名を授与）：30万円
- ・既存墓地から御骨を個別移管する場合：15万円（一名につき）
- ・〇〇家先祖代々として合葬する場合：50万円（四名以上の移管）

修正会・彼岸会・孟蘭盆会・報恩講

など適宜お花やお香をお供えし、墓前にて読経します。なお、葬儀、法要等の仏事は、真宗大谷派の儀式作法に則り、お勤めいただきます。また、超覚寺の寺報もお送りし、法座・法要・各種行事にもご参加いただけます。

超覚寺合同墓の埋葬の形態は、個別に管理するのではなく、骨壺等から取り出し合同埋葬します。一度埋葬した御骨は分別できないため、返還できないことをご了承ください。



☆ 「お彼岸」

秋のお彼岸が近づいてきました。彼岸とは「此岸(しがみ)」に対する言葉です。此岸とは私たちの住む迷いの世界、そして彼岸とは仏様の悟りの世界のことです。迷いの世界から悟りの世界という仏教の目指す道を表わしています。此岸から彼岸への道は阿弥陀さまが与えてくださった道であり、私の思慮分別の力でつかむ世界ではありません。彼岸への道は浄土への道。でもその道はすでに私にまで真っ直ぐに浄土から伸びてきていました。

お釈迦さまは此岸から彼岸への道として 六つの行を示されました。六つの行とは「布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧」です。簡単に言えば、布施は物事を施す、持戒は仏の教えをよく守る、忍辱はどのような苦難も引き受ける、精進は真実の道を歩み続ける、禅定は乱れる心を常に静かに保つ、智慧は私の身勝手なモノサシで見るのではなく事実をありのままに見るということです。

こうしてみるとどれも大切なことですが、いざ実践しようと思うと非常に困難なことがわかります。むしろ示されることによって、それらが全くできないことが知られます。そんな私を知らせていただくのがお念仏です。善行が全くできない私だからこそ、救わずにはおれないという阿弥陀さまの願いが声となって私の耳に響いてきます。

人間の耳が2つ、口が1つなのは 多くを聞き、口数は少なくするためという昔話があります。でも普通は全く逆で、あまり聞かず減らず口ばかりです。都合の悪いことには耳を塞ぎ、都合の良いことが話していないような気がします。このお彼岸という聞法の好季節にお寺の法座に出かけ、2つの耳で聴聞し1つの口で唯お念仏をよろばせていただきたいものですね。



◇ “寺”後報告

① 6/14 山陽教区 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 記念講演会

平和公園内の広島国際会議場フェニックスホールにおいて、約1,300名が参集され、超覚寺からも約50名がお越しくださいました。午後1時30分に開会し、真宗歌斉唱、勤行の後、大谷派の伝統声明『坂東曲（ばんどうぶし・親鸞聖人の御命日11月28日に東本願寺でしか勤められない）』が披露されました。本願寺派の御門徒が圧倒的に多い広島で、30名以上の僧侶が上体を前後左右に激しく揺さ振りながら勤める坂東曲の迫力に皆さん魅了されていました。

引き続き、政治学者の姜尚中氏(聖学院大学学長)より、「〈共苦〉から〈共生〉の未来へ～広島・水俣・福島が問いかけるもの～」という講題のもとお話を頂きました。姜氏は「広島のお話させていただくについては、被爆・被曝ということを避けて通れない。人間が作り出した科学が、誰も経験したことのない地獄を生み出した。私は実際に福島に行き、広島とは違う原発の恐怖を感じた」など語られました。講演後は僧侶との対談が企画され、「〈共苦〉＝苦というものを共に分かち合うとはどういう事か」との質問が出されました。姜氏は「一部の人がだけが痛むから同じ事を繰り返す。『あなたの不幸は私の幸福』という社会になっている。支え合う関係性を作っていかなければならない」と述べられました。そして、「戦争や被曝など、同じことを繰り返すというのは懲りてないからだ」との高村薫氏（小説家）の言葉を紹介されました。

来聴者からは、「今の社会は〈共生〉の社会ではないということ。社会全体で利益を分かち合うばかりではなく、苦しみや大変さを分かち合うことが結果的に“豊かさ”を分かち合うことにつながるのではないか。その豊かさは“心の豊かさ”だと思う。この講演をご縁に、私自身が心を豊かに生きていきたい。」や、「〈共苦〉という言葉が心に残った。今までは自分の周りの人が幸せであれば良いような気になっていた。知らない人のことだと他人事にしていた自分がいた。何事も我が事として生きていくべきだと思った。そのためには、先ず知ることではないかと思う。」などの感想が聞かれました。

② 7/27 超覚寺女子会

8月の法要に備え皆で仏具をお磨きしました。ワイワイおしゃべりしながらのお磨きと思いのほか早く終わりました。この日は暑かったので、終わってからアイスを食べました。



2014/07/28

③ 7/29・30 夏休み一泊子ども会

北広島町のお寺さんを会所に、広島市内の小学生27名(超覚寺からは5名)が集まりました。御念珠作り・BBQ・肝試し・グラウンドゴルフとイベント盛り沢山でした。お子さんからお寺を身近に感じてもらえる御縁になれば有難いと思います。来年も開催予定ですので、小学生の皆さんは是非ご参加ください。



2014/08/14

④ 夏の法要（原爆忌法要・孟蘭盆会法要）には、延べ62名がお参り

くださいました。お墓には約1500組がお参りされました。今年のお盆は雨続きで大変だったと思いますが、この時期にだけお会いできる方も多く、有難くも嬉しく感じられたお盆期間でした。



2014/08/18